

【事務事業シート】

1

当初

6 年 度	事 項	里山里海体験型観光推進事業費								予算主管課		農政課			
	事 業 概 要	農山漁村における「滞在」「体験」に関する資源の発掘・磨き上げや情報発信等を行うことで、地域外から多くの観光客を呼び込み、県内の里山里海の活性化を図る。								始期		2020			
										終期		2026			
	K P I	体験メニュー利用者数													
		KPI種別	上がるの良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	14 万人		目標値	15 万人		目標値	16 万人		目標値	17 万人	
		実績値	13.1 万人		実績値	12.3 万人		実績値	12.4 万人		実績値	万人		実績値	万人
ストック / フロー		フロー		達成率	87.9 %		達成率	82.7 %		達成率	%		達成率	%	
コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	5,425 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円		決算額	4,686 千円		決算額	千円		決算額	千円		
	要因分析	要因 一定の実績は確保できたものの、松山圏域をはじめとする都市部からの人口移動が十分に促進されなかったことに加え、農作業の合間に受け入れるという事業形態の特性から、年間を通じての受け入れには難しさがあり、結果として目標には達しなかったものと考えられる。 総括													
	見直し方向性	維持	関係人口の増加は、農山漁村の活性化や地域経済の持続に向けた重要な要素であり、農泊等を通じた都市と農村の交流促進は、その有効な手段の一つと考えられる。また、山村振興法においても関係人口や二地域居住の促進が位置づけられており、こうした政策の方向性とも整合することから、本事業についても引き続きその趣旨や効果を踏まえながら、適切に取り組むことが望ましいと考える。												

2

当初,2月補正

6 年 度	事 項	中山間地域等直接支払交付金事業費								予算主管課		農地整備課			
	事 業 概 要	中山間地域等における農業生産条件の不利性を補正するため、直接支払により支援を行う。								始期		2000			
										終期					
	K P I	中山間地域等直接支払交付金活用による生産・保全面積													
		KPI種別	上がるの良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	11600 ha		目標値	11600 ha		目標値	11600 ha		目標値	11600 ha	
		実績値	ha		実績値	10664 ha		実績値	10622 ha		実績値	ha		実績値	ha
ストック / フロー		フロー		達成率	91.93 %		達成率	91.6 %		達成率	%		達成率	%	
コ ス ト			最終現計 予算額	1,143,753 千円		最終現計 予算額	1,135,620 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	1,141,774 千円		決算額	1,133,311 千円		決算額	千円		決算額	千円		
	要因分析	要因 取組の維持・拡大に向けて、資料等を活用し啓発・促進等を行ったものの、令和6年度が第5期対策の最終年度であったこともあり、面積拡大には至らず、未達成となった。 総括													
	見直し方向性	維持	7年度より新たに第6期対策が開始されるため、制度改正の周知を図るとともに、多様な人材との連携や協定間での活動連携促進等、活動の継続・拡大に向けた啓発を行い、成果の向上につなげる。												

9

当初

事 項	県民参加の森林づくり公募事業費							予算主管課		森林整備課	
事 業 概 要	森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体 となって推進するため、県民の豊かな発想による自発的な活動に対して補助する。							始期	2005		
								終期	2029		
K P I	森林づくりの公募事業への参加者数										
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人	
	実績値	9924 人	実績値	6304 人	実績値	8359 人	実績値	人	実績値	人	
	ストック /フロー	フロー	達成率	42.03 %	達成率	55.7 %	達成率	%	達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	15,000 千円	最終現計 予算額	13,500 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
決算額			12,067 千円	決算額	12,193 千円	決算額	千円	決算額	千円		

6 年 度	要因分析	要因 公募事業は、県民自らが企画、立案、実行する活動への支援のため、各団体等の活動内容によって参加人数が大きく左右される状況があり、令和6年度は、活動への一般参加を働きかけ、前年度より向上したものの、未達成となった。										
		総括										
	見直し方向性	改善	6年度のKPI実績は目標を下回ったが、新規応募も増えていることから、8年度は全国植樹祭を契機とした二ーズの高まりに応え、県民参加の森づくりを一層推進することで向上が図られるよう、事業内容の見直しや拡充を検討する。									

10

当初	事 項	新たな森林管理システム推進事業費						予算主管課		森林整備課				
	事 業 概 要	森林資源の適正な管理を推進するため、新たな森林管理システムの普及・指導等を行う。						始期		2019				
								終期						
	K P I	市町または所有者等により適正管理されている民有林（人工林）割合												
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
			R 4 年 度	目標値	24 %		目標値	25 %		目標値	26 %			
		実績値	23 %	実績値	20 %		実績値	27 %		実績値	%			
		ストック /フロー	ストック	達成率	83.33 %		達成率	108 %		達成率	%			
	コ ス ト		最終現況 予算額	47,043 千円		最終現況 予算額	48,000 千円		最終現況 予算額	千円		最終現況 予算額	千円	
			決算額	40,879 千円		決算額	42,655 千円		決算額	千円		決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成と考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。											

13

当初、6 月補正、12 月補正	事 項	造林事業費						予算主管課	森林整備課		
	事 業 概 要	森林が持つ多面的機能を発揮させるため、森林の適正な管理に寄与する森林施業等に対し支援を行う。						始期	1946		
								終期			
	K P I	森林整備実施面積（当該年度）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	4098 ha	目標値	3450 ha	目標値	2423 ha	目標値	2000 ha
		実績値	1640.23 ha	実績値	1505 ha	実績値	1989 ha	実績値	ha	実績値	ha
		ストック /フロー	フロー	達成率	36.7 %	達成率	57.7 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	989,508 千円	最終現計 予算額	1,456,906 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	986,757 千円	決算額	1,451,832 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因 令和6年度の国補正予算に対応し、12月補正で事業に取り組んだが、森林整備の着手にあたって必要となる森林境界の確定など日数を要したことから、大半を次年度に繰り越すことになった。									
		総括									
	見直し方向性	改善	細施策KGIとの相関は高いと考えるが、6年度は当初予算の繰越が例年と比較して多く、年度目標達成率が低調であったことから、7年度の執行から本庁・出先機関・事業主体間でこまめに進捗状況を管理すること、事業実績を向上させる。								

14

当初、12月補正、2月補正	事 項	花粉の少ない森づくり事業費								予算主管課		森林整備課
	事 業概要	花粉の少ない森づくりを推進するため、花粉発生源であるスギ人工林等の伐採、植替えや花粉の少ない苗木の生産拡大等について支援を行う。									始期	2023
											終期	
	K P I	スギ人工林等の植替え面積										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
			R 4 年 度	目標値	80 ha	目標値	80 ha	目標値	80 ha	目標値	80 ha	
		実績値	65 ha	実績値	0 ha	実績値	62 ha	実績値	ha	実績値	ha	
		ストックフロー	フロー	達成率	0 %	達成率	77.5 %	達成率	%	達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	65,742 千円	最終現計 予算額	174,836 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	0 千円	決算額	146,581 千円	決算額	千円	決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因 スギ人工林植替え事業の要件を満たす事業地確保に難航したため。 また、令和6年度の国補正予算に対応し、12月補正で事業に取り組んだが、年度内までの事業期間が短く、森林所有者の同意取り付け等に日数を要したことから、次年度に繰り越すこととなった。										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度事業の要望はおおむね予算額どおりであり、KPIは目標達成と考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。									

15

当初	事 項	優良種苗確保事業費						予算主管課	森林整備課		
	事 業 概 要	林木の品種改良、種子採取源の整備等による優良種苗の供給を確保するとともに、低コスト造林に資するコンテナ苗やエリートツリー等の利用拡大を図る。						始期	1967		
								終期			
	K P I	球果採取量									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	400 リットル	目標値	400 リットル	目標値	1100 リットル	目標値	1100 リットル
		実績値	315 リットル	実績値	1197 リットル	実績値	1145 リットル	実績値	リットル	実績値	リットル
		ストック /フロー	フロー	達成率	299.25 %	達成率	286.3 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	40,070 千円	最終現計 予算額	36,842 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	39,639 千円	決算額	32,985 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	改善	6年度のKPI実績は、5年度に引き続き、目標値以上の成果が出たことから、7年度執行から上方修正することとし、採取源の適切な育成管理を通して、球果採取量の維持を図る。								

16

当初

事 項	森林病虫獣害対策事業費						予算主管課		森林整備課		
事 業 概 要	県木である松を守るため、県民参加による保全活動を推進するとともに、重要な松林を対象に防除を実施するほか、ニホンジカの森林被害対策を行う。						始期	1973			
							終期				
K P I	松くい虫の森林被害面積										
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度	目標値	1169 ha	目標値	698 ha	目標値	450 ha	目標値	450 ha	
	実績値	ha	実績値	450 ha	実績値	449 ha	実績値	ha	実績値	ha	
	ストック フロー	フロー	達成率	259.8 %	達成率	155.5 %	達成率	%	達成率	%	
コ ス ト		最終現計 予算額	17,808 千円	最終現計 予算額	10,986 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円		
		決算額	13,221 千円	決算額	9,553 千円	決算額	千円	決算額	千円		

6
年
度

要因分析	要因										
	総括										
見直し方向性	維持	6年度のKPI実績は防除による被害抑制により前年度を下回る成果が出ており、7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成できると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。									

当初

事 項	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費						予算主管課		森林整備課			
事 業 概 要	地域住民や森林所有者等が協力して行う「里山保全」「竹林整備」「森林資源の利活用」等の森林・山村が有する多面的機能の発揮に資する活動に要する経費を補助する。						始期		2022			
							終期					
K P I	本補助により整備されている里山面積											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	31 ha		目標値	31 ha		目標値	31 ha	
	実績値	ha		実績値	27 ha		実績値	18 ha		実績値	ha	
	ストック /フロー	フロー		達成率	87.1 %		達成率	58.1 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	4,300 千円		最終現計 予算額	3,000 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				1,939 千円		決算額	1,658 千円		決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因 要望額より、国費の配分が少なかったため、未達成となった。										
		総括										
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は目標達成しなかったが、7年度以降も現状のニーズを踏まえるとKPIは目標達成すると思われることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。									